

市営住宅入居申込書

1 申込住宅

申込住宅	市営 団地
------	----------

2 申込者

本籍						
現住所	TEL					
勤務先名	TEL					
職業						
条例第10条第4項該当事項	1 60歳以上	2 生活保護	3 中国残留邦人	4 配偶者暴力被害者等	5 引揚者	6 炭鉱離職者
	7 母子・父子	8 多子	9 公共的事業	10 帰国被害者等	11ア 犯罪被害者等(生計維持困難)	11イ 犯罪被害者等(居住困難)
	12ア 戦傷病者(症)	12ア 原爆被爆者	12ア ハンセン病療養所入所者等	12ア 被災者	12イ 身体障害者(級)	12イ 精神障害者(級)
	12イ 知的障害者	12ウ シックハウス症候群患者				
ふりがな氏名	続柄	生年月日(年齢)	職業	勤務先名所在地	年間所得額(円)	控除名(控除額 円)
	本人	・ ・ ( 歳)				( )
個人番号						
同居親族又は同居しようとする親族		・ ・ ( 歳)				( )
	個人番号					
		・ ・ ( 歳)				( )
	個人番号					
		・ ・ ( 歳)				( )
個人番号						
同居外扶養親族等		・ ・ ( 歳)		住所		( )
		・ ・ ( 歳)		住所		( )
条例第6条第1項第2号ア又はイ該当事項	1 60歳以上のみ	2 未就学児童あり	3 身体障害者(級)	4 精神障害者(級)	5 知的障害者	
	6 戦傷病者(症)	7 原爆被爆者	8 引揚者(引揚年月日・)	9 ハンセン病療養所入所者等	10 被災者	

3 現在の居住状況

住宅の区分	持家・借家・アパート・間借り・寮・下宿・その他( )			
住宅の規模	室数	室	畳数	畳
その他	家賃	円	世帯人員数	人

4 住宅の困窮状況

- 1 住宅以外の建物に居住している。
- 2 保安上危険な状態又は衛生上有害な状態の住宅に居住している。
- 3 他の世帯と同居して著しく生活上の不便を受けている。
- 4 世帯構成に比べて住宅が著しく狭い。
- 5 自己の責めによらず立ち退きの要求を受け、適当な立ち退き先がない。
- 6 住宅がないため遠距離通勤をしている。
- 7 収入に比べ著しく過大な家賃の支払をしている。
- 8 その他( )

上記のとおり市営住宅に入居したいので、燕市営住宅条例第9条第1項の規定により、関係書類を添えて申し込みます。

なお、この申込書の記載内容が事実と相違するとき、又は申込者(現に同居し、又は同居しようとする親族を含む。)が暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律第2条第6号に規定する暴力団員(以下「暴力団員」という。)であることが判明したときは、入居の決定をされず、又は取り消されても異議ありません。

また、申込者(現に同居し、又は同居しようとする親族を含む。)が暴力団員であるか否かの確認のため、警察本部に照会がなされることに同意します。

暴力団員ではないことの確認
該当する場合は、□にレ印を記入してください。
<input type="checkbox"/> 申込者(現に同居し、又は同居しようとする親族を含む。)は暴力団員ではありません。

年 月 日

申込者

燕市長 様

<p>※ ・住宅困窮要件 ・収入基準          収入月額 (所得額 - 控除額) / 12 = 円          判定 適 ・ 不適</p>
<p>注 1 ※印欄は、記入しないでください。          2 「条例第10条第4項該当事項」欄及び「条例第6条第1項第2号ア又はイ該当事項」欄は、該当する番号を○で囲んでください。          3 燕市営住宅条例施行規則第3条第3項の規定に該当する場合は、添付書類の1、3及び4(添付書類の4にあっては身体障害者若しくは精神障害者であることを証する書類又は生活保護法による被保険者であることを証する書類に限る。)の添付を省略することができる。</p> <p>添付書類</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 住民票の写し</li> <li>2 市長が指定する期間に係る収入額を証する書類</li> <li>3 申込者に婚姻の予約者がある場合は、婚姻の予約を証する書類</li> <li>4 条例第6条第1項第2号ア若しくはイ、第2項又は第10条第4項のいずれかに該当する場合は、その事実を証する書類</li> </ol>